

Children's
Independence
Support
子どもの
自立支援

ホームランド バタンバン州



3月上旬、専門家2名（舟越和代さん、堀美紀子さん：元香川県立保健医療大学教員）にご協力いただき、ホームランドが支援を行う子どもたちに第1回目となる栄養指導を実施しました。半年前の現地実態調査の結果、子どもたちの食生活は、日々、ご飯に魚醤をかけて食べたり、身近で簡単に手に入る空芯菜を食べたりしていることがわかり、極端なタンパク質不足が懸念されました。肉や魚は高価で入手が難しいため、栄養が豊富で比較的安価な大豆に着目し、大豆を使った調理を紹介してきました。



大豆や空芯菜には
栄養が豊富と知り驚くホームランドスタッフ

様々な食材の栄養素について広く理解することは大切なことです。しかし、まずは支援する子どもたちが普段食べている食材、また家庭で無理なく購入可能な食材を取り上げることで、より実践的な指導を目指しました。そして、普段子どもたちが通う市場で撮影した食材の写真を使用するなど、わかりやすい教材の工夫もしています。カンボジアでは、大豆は豆乳や甘味として使われることがほとんどで、おかずとして使うことには抵抗があるようでしたが、調理実習を通じて幅広い調理方法を伝えることができました。

スタッフとの打ち合わせで、カンボジアでは糖尿病や高血圧の人が多いという課題が挙がりました。次回は、塩分や糖分過多の食生活を改善し、それに伴うさまざまな病気を予防するための調理について学びたいとの要望を受けています。今後、第2回目の指導の準備を進めていきます。



自ら作成した指導案をもとに
子どもたちに授業をするスタッフ



大豆と空芯菜の炒め物、大豆入り野菜たっぷりスープ、
大豆のおやつ3品を子どもたちと調理



この栄養指導プロジェクトにご寄付を通じてご協力いただける方は、PayPal をご利用いただくか、セカンドハンドの払込取扱票に「栄養指導」と記入し、ご送金ください。

カンボジアの子どもたちの平均身長や平均体重は、近隣のアジア諸国に比べ大きく下回っています。2017 年に保健省が認定した栄養改善指針があるものの、学校での教育プログラムに反映されておらず、栄養について学ぶ機会はほとんどありません。

Education
Support
教育支援

トムポー小学校 校舎建設支援決定



2024 年度、セカンドハンドにとって 25 棟目となる学校建設支援を行います。カンボジア・ポーサット州にあるトムポー村は、クメール・ルージュが政府に解体された後、1997 年頃につくられた村だそうです。かつてはクメール・ルージュの支配地域であり、30 年以上にわたる内戦の激戦地、最後の拠点の一つでした。当時、村の多くの場所に地雷が埋められました。



2020 年、住民によって建設された簡易木造建物。
4 年生～6 年生が使用。壁や空調がなく、雨季にも乾季にも学習が困難。

この村には 9,052 世帯が住んでおり、村人は主に小規模農業や、国内外への出稼ぎで生計を立てています。トムポー小学校には、115 人の児童が在籍しており、3 つの簡易建物を学年毎に分けて使用しています。上の写真の校舎は一見立派に見えますが、子どもたちがこれからも安全に学び続けるためには修理が必要とのことです。もう一つの建物も、安全に使用できるのはあと数年の状態で、子どもたちに危険が及ぶ恐れが高い中、費用の問題で改修困難な状況です。

情報提供：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

セカンドハンドでは、新校舎建設費用のうち 100 万円を支援します。この支援にご寄付を通じてご協力いただける方で、セカンドハンドの払込取扱票をご利用の方はメッセージ欄に「学校建設支援」と記入し、ご送金ください。

SECOND
HAND
Announcement
お知らせ

30TH
ANNIVERSARY

設立記念事業

5 月 27 日、セカンドハンドは設立 30 周年を迎えます。今年度は、30 周年を記念してさまざまな企画を用意しました。

【企画①：記念誌製作】
30 年の歩みや取り組みをまとめます。

【企画②：オリジナルTシャツ製作】
イベント出店時などに着用できるオリジナルデザインのTシャツを 200 着限定で製作します。

【企画③：各店舗イベント】
高松店、片原町店、松縄店でそれぞれ記念イベントを開催します。

【企画④：カンボジア人招聘】
秋頃にホームランドが支援をする子どもたち 2～3 名と、スタッフ 1 名を高松へ招聘します。

【企画⑤：学校建設支援】
トムポー小学校の新校舎建設支援を行います。2025 年夏頃完成予定です。



Emergency Support
緊急支援

「令和 6 年能登半島地震」で被災された方々を支援するため、セカンドハンドにお寄せいただいた義援金とチャリティバザーの売上、合計 15 万円を、日本赤十字社香川県支部の浅野事務局長にお渡ししました。
また、県内の子ども食堂を応援するための助成金を、5 つの団体にお渡ししました。助成金にご応募いただいた団体から、あそび舎どんぐり、一般社団法人もも、すまいる＊はうす、たまのいえ子ども食堂、まんまるサポートの 5 団体に 4 万円、合計 20 万円を支援し、それぞれの団体に食材の購入に充てられました。
ご支援くださった皆様、ありがとうございます。



Network

SECOND
Secondhand
Komagane
セカンドハンド
駒ヶ根

2023 年 12 月ブノンペンに行き、支援先 KKEV の視察をさせていただきました。KKEV のピアラックさん、日本語ガイドのソペアさんに現在のカンボジアの様子について伺いました。現在はコロナの影響が少し落ち着いたものの、世界経済の混乱により、支援している子ども達の親の仕事（縫製工場や観光業等）は厳しい状態が続いている、とのことでした。
今後も継続して支援を続けられるよう、セカンドハンド駒ヶ根として、イベント出店や講師派遣の機会を増やしていけたらと思います。



SECOND
Secondhand
Youth
セカンドハンド
ユース

3 月にはセカンドハンド本部にてミーティングを行い、前年度の振り返りや来年度の活動内容などについて話し合いました。メンバー 1 人 1 人が積極的に意見を出し、より一層やる気に満ち溢れています。
また募金活動などを通じた、大勢の方のご支援のおかげでユースが支援していた高校生 1 名が卒業し、来年度より新しく中学生 1 名を支援することになりました。奨学生を最後まで支援できるように努力して参りますので、これからもセカンドハンドユースをよろしく願います!!
(ユースメンバー 森)



Special
Thanks
ສິດສິດ

12 月～2 月までの 3 ヶ月間にご寄付をくださった方々です。【順不同・敬称略】
青野千恵子、伊賀憲子、池内保、泉幸江、伊藤祐喜子、今井里美、上田瞬介、鶴川利恵、大森康正、岡本洋功、小笠寛幸、小畑孝一郎、柏原裕美、片山積、亀山誠子、川崎多恵子、久保智枝、呉妙専、小林規子、近藤温子、四国物産、清水博子、下地初子、シュエリン公子、白川ふみ、末澤一誠、瀬崎滋雄、高島清彦、俵恵美、塚田泰代、西川亜里、西川みさご、新田薫、沼田章、のぞみ総合法律事務所、橋田洋一、秦和美、久松恵津子、平田暢夫、福島玲奈、堀具王、堀 美紀子、堀口公明、前田洋枝、真嶋由岐夫、松原志乃、マンスフィールド雪江、三木佳子、美濃吉広、三原主幹、三村美代子、宮本明宜、宮本弥生、柳瀬彩子、山本文子、山本芳子、弓削田裕子、横田千春、横川みどり、吉本房子、若宮武、若杉淳子、渡部豪、渡部御千子

Cambodia
カンボジア メモ

2023 年、アンコール・ワットから北東に約 100km、プレアヴィヒア州にある「コー・ケー：古代リンガブラ(チョック・ガルギヤー)の考古遺跡」が国内 4 つ目の世界文化遺産として登録された。

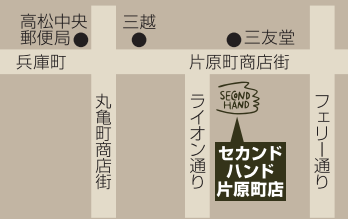
本部・高松店

〒760-0055 高松市観光通1-1-18
TEL : 087-861-9928
営業時間：月～金 10時～16時
定休日：土曜、日曜、祝日



片原町店

〒760-0040 高松市片原町9-1
TEL : 087-822-3552
営業時間：月～金 10時～18時
土・日・祝日 10時～17時



松縄店

〒760-0079 高松市松縄町37-5
TEL : 080-4999-0494
営業時間：土～水 11時～18時
定休日：木曜、金曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています。

公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928
✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/sh/

SECOND
HAND

あなたの手を、世界の誰かに。

Sambot

セカンドハンド通信

2024 April

Vol.

116

Contents

子どもの自立支援

トムポー小学校建設支援 / 30 周年記念事業

緊急支援

Network / Special Thanks



ホームランドが支援をする貧困家庭の子どもたち 35 名に、フォスターペアレント制度による食料支援を行っています。子ども一人当たり、米 15kg、砂糖 1kg、塩 1kg、魚醤 1 本、醤油 1 本を配ることができました。また今回は、これに加え、栄養指導プロジェクトへいただいたご寄付をつかい、大豆 1kg を配布することができました。ご支援いただきました皆様、ありがとうございました。

2023 年度事業報告（一部速報値）

1 主な支援実績

奨学金支援 連携団体：KKEV（現地 NGO）支援額：約 87 万円 ※6000 ドル

女性の自立支援 連携団体：ラチャナハンディクラフトバットンバン支援額：約 22 万円 ※1500 ドル

フォスターペアレント制度 連携団体：ホームランド（現地 NGO）約 144 万円 ※9720 ドル

貧困家庭への自立支援 連携団体：OAU（マラウイ）支援額：35 万円

緊急支援 生活困窮緊急支援※子ども食堂 20 万円（5 つの団体に 4 万円ずつ）

緊急支援 能登半島地震復興支援 15 万円（日赤香川県支部を通じて支援）

2 店舗売上（イベント・委託販売を含む）

約 1,495 万円（2022 年度 約 1,342 万円）

3 寄附金

約 450 万円（2022 年度約 472 万円）

店舗定休日の変更について

2024 年 5 月から全ての店舗で日曜日を定休日とします。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。新しい定休日は次のとおり。

片原町店定休日 日曜日（日曜日以外の祝日は営業）

松縄店定休日 木曜日、日曜日、祝日（従来は、木、金、祝日が定休日でした）

高松店定休日 土曜日、日曜日、祝日（従来通り）

使用済み切手収集の廃止について

皆様のご協力を得て使用済み切手を収集し、業者に買い取りしていただいていたしましたが、取扱業者が廃業し、他の業者も取引を停止されたことから、今後は、使用済み切手の収集から撤退します。これまでのご協力に心から感謝申し上げます。なお、未使用の切手、ハガキは、従来通り提供をお願いします。ニュースレターの発送等にさせていただきます。

提供品について

コロナ禍の身辺整理が一段落したためか、提供品が減少気味です。皆様、ぜひ、不用になった品物のご提供をお願いします。なお、4 月初旬から夏物のみの受付となっています。

提供品のリストは、右の QR コードからご覧ください。

